

## はじめに

みなさんが<sup>かず</sup>数の学習を始めたときのことを、ちょっと思い出してみてください。

最初の頃は指を折りながらやっていた、1桁どうしの整数の足し算も、反復練習したり、応用的な問題を解いているうちに、自然と身に付いたのではないのでしょうか。

おそらく、英語などの語学の学習も同様でしょう。文の中の単語を一つだけ入れかえて、よく似た別の文を作ったり、同じ意味を表すための、異なる言い回しで文を作ったりして、理解を深めたのではないのでしょうか。

もちろん、ただ多くの問題を解くばかりではダメでしょうが、みなさんが身に付けてきた<sup>りよく</sup>算数力、<sup>りよく</sup>英語力の少なからぬ部分は、地道な学習の積み重ねや、反復的なトレーニングによるものだと思います。

このような考えのもとに、基礎レベルのC言語<sup>りよく</sup>力を身に付けようとする、みなさんに贈るのが、本書『**解きながら学ぶC言語**』です。全部で**999**問という数多くの問題を解きながら、学習していきます。

算数や英語の問題集と同様に、よく似た問題や、少しひねった問題もありますが、コツコツと解いてみてください。本書の問題は、実際の教育の現場において、学習効果が確認されたものばかりです。

すべての問題をスラスラと解けるようになったら、胸をはって〔初心者レベル〕を卒業できるはずです。

なお、本書は、拙著『新版 明解C言語 入門編』の全演習問題が含まれており、その補助テキストあるいは解答集としても利用できるようになっています。

本書が、みなさんのC言語トレーニングの一助となれば幸いです。

平成 16 年 9 月

柴田望洋

## 本書の構成

本書は、柴田望洋著『新版 明解C言語 入門編』（ソフトバンクパブリッシング、2004 / 本書では『明解』と呼びます）の全演習問題を含んでいますので、『明解』と同様に、全13章となっています。

各章は、〔プログラム作成問題〕と〔錬成問題〕とから構成されます。

### ・プログラム作成問題 … 193 問

プログラムを作成する問題であり、『明解』の演習問題と、本書のオリジナル問題とがあります。解答プログラムだけでなく、詳細な解説も示します。

### ・錬成問題 … 806 問

用語や概念に関する知識を問う問題や、プログラムの空欄を埋める形式の問題です。全章分の錬成問題の解答は、p.297～p.303にまとめて示しています。

## 謝辞

本書をまとめるにあたり、ソフトバンクパブリッシングの野沢喜美男編集長には、随分とお世話になりました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

柴田 望洋  
赤尾 浩  
肘井 信一  
高木 宏典

本書は、1999年に刊行した『明解C言語 入門編 例解演習』に第13章を加えるとともに、若干の修正を行って改題したものです。